

# 労働建交のつぎ

発行所 全日本建設交運一般労働組合  
栃木県本部 〒327-0315  
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1  
Tel 0283-62-7312 fax 0283-62-7318  
http://www.kenkourou-dump.jp/  
E-mail:DQJ06744@nifty.com

◎四月八日、関東ダンブ協議会定期総会が戸田市文化会館で開かれ、栃木支部から三役を中心に代表七人が参加、工藤委員長、大島執行委員が組織拡大、過積載問題で発言しました。役員は留任。

## 安倍うそつき内閣はいますぐ退陣 全国各地で国民の怒り高まる



4月14日、国会前の車道をうめつくして抗議する人たち。

森友・加計疑惑の徹底追及、内閣総辞職を求める行動が四月十四日、全国二〇か所以上で行われました。国会周辺には約五万人が参加、警察の規制線を超えて車道に人々があふれました。いまや安倍政権の支持率は三〇％を割り、過去最悪となつています。 「本件は首相案件」。嘘が次々と暴かれ、森友、加計疑惑は泥沼化、さらに自衛隊の公文書隠ぺい、官僚のセクハラ重要です。 欧米のように、市民デモが当たり前の社会にするために、私たち労働組合のスタンスも重要です。

## 来ました！ 架空請求

組合員吉本徹也さん(仮名)の奥さん宛に架空請求ハガキ(下)が送られてきました。 連絡しなければ「原告側の主張が全面的に受理され」「差し押さえ」されるそうです。発送元は「法務省管轄支局」というもつともらしい名前。もちろん吉本さんは身に覚えがまったくありません。これは各地で頻発している詐欺です。連絡せずにほっておきましよう。

### 消費料金に関する 訴訟最終告知のお知らせ

この度、ご通知致しましたのは、貴方の利用されていた契約会社、もしくは運営会社側から契約不履行による民事訴訟として、訴状が提出されました事をご通知致します。

管理番号 裁判取り下げ最終期日を経て訴訟を開始させていただきます。

尚、このままご連絡なき場合は、原告側の主張が全面的に受理され、執行官立会いの下、給与差し押さえ及び不動産、不動産の差し押さえを強制的に執行させていただきますので、裁判所執行官による執行証書の交付をご承諾いただきますようお願い致します。裁判取り下げなどのご相談にしましては、当局にて承っておりますので、お気軽にお問合わせ下さい。尚、書面での通達となりますので、プライバシー保護の為、ご本人様からご連絡いただきます様、お願い申し上げます。

※取り下げ最終期日 平成30年4月10日

法務省管轄支局 民間訴訟告知センター  
東京都千代田区霞が関2丁目1番9号  
取り下げ等のお問い合わせ窓口 03-  
受付時間 9:00~20:00(日、祝日を除く)



毎日3時間の「地獄のリハビリ」で仕事復帰をめざす小山さん。

## 組合に事務委託すれば 事業主も労災に加入できます

従業員を雇用している場合、自ら労働者とする事業主は通常労災保 同様に第一線で働く人 険には加入できません。が少なくありません。しかし、中小事業主 とくに、ダンブ、建

設置界は、事業主自ら現場で仕事をするのが珍しくありません。組合に労働保険加入を委託すれば、事業主も労災保険に特別加入することが出来ます。組合員の小山聡さんは重機の回送業を営んでいます。従業員がいますが、小山さんも日常的にハンドルを握っています。 昨年一〇月、トレーラー荷台の脚立から転落し腰を負傷しました。当初S市民病院に入院し治療を受けていましたが、セカンドオピニオンを希望した結果腰椎破裂骨折と診断され転院し手術、すでに一年半以上の長期入院を強いられています。この間の治療費、休業補償、転院搬送費等労災保険から支給され、現在復帰にむけて「地獄のリハビリ」中です。 小山さんの話 「こんなに長引くとは思っていませんでした。救急車で運ばれたS市民病院できちんと診察してくれていたなら、みなさんセカンドオピニオンは本当大事ですよ。少しでも不安があったら違う医者への診察も受けたい。それと事業主でも現場にでる人は労災に入ったほうが絶対いい。重要な二つの教訓です。

↑「特殊詐欺事件」の被害は年々増加しています。ご注意ください。 ↑保険料は年3回分割納付できます。一人親方労災とは別の制度です。

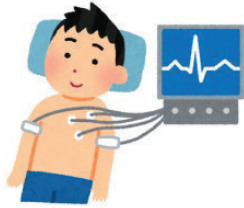
◎年々「自然災害」が身近になっていっています。全労済の「自然災害共済」なら、年間掛け金一万八千円で最大42.2万円まで補償（木造で風水害による床上浸水の場合）。ご相談ください。

# 健康診断会のお知らせ

◎日時 5月13日（日）午前9時～  
 ◎場所 新吉水地区コミュニティセンター  
 住所 佐野市吉水駅前吉水駅前1-19-6  
 吉水郵便局隣  
 ◎費用 組合員負担金四千元（※）  
 ◎申込 4月末までに組合事務所に電話してください。  
 ※検査費用は5,832円のうち組合が1,832円を補助し、組合員の自己負担は4,000円に設定しています。  
 組合員以外の受診希望者は実費5,832円（税込）のご負担をお願いします。

### 【検査項目】

医師診察・血圧測定・尿検査（糖、蛋白）・計測（身長、胸囲、体重、視力）・聴力・胸部レントゲン・血液検査（貧血、肝機能、脂質、血糖）・心電図・胸囲



## 組合員紹介 加辺義夫さん（79）

# 309万キロで引退決意 長い間ごくろうさまでした。



苦楽をともにした昭和61年式ダンプ。パキスタンで第2の人生（予定）。

加辺義夫さんは来月八十歳になるのを機に、引退を決意しました。昭和六十一年式の三菱菱ふそうは三〇九万キロ（大型ダンプでは多分日本記録）。最後までミツシヨンの、クラッチはノートラブル、エンジンには数年前ガスケット交換をしただけで、最後まで好調を維持しました。

加辺さんは語ります。「クラッチとアクセルのタイミングがおかしい若い人が多い。信号で後ろにつくと発進時の音でわかる。毎日何百回、何千回ってクラッチを踏むんだから長い目でみれば車体にそれだけ負担をかけていることになる。俺はダブルクラッチの癖がついてる。運転の仕方ではない。運動の仕方ではない。」

波乱に満ちたダンブ人生を振り返る。加辺さんは群馬県出身。父親の仕事で中学生の頃青森県に移住します。「親父は石工で俺も中学の頃から現場に行くようになった。昭和28年頃、群馬の山奥だと囚人を人夫として使われて、荒っぽい現場だった。石工としての大きな仕事は三沢市にある公園の石垣、ひとつ20t位の石を重機を使って慎重に組んでいく。日本伝統の石垣積み」。



加辺さんと石垣。三沢駅前の公園で見れます。

昭和の大型工事に関わるようになり。青函トンネル工事は6年位関わった。海底から掘り上がってくる砂利の処分。ダンプと重機入れてあの頃が一番儲かった。外車を何台も乗り換えたよ」。



いまや新幹線も走る青函トンネル。多くの労働者が殉死した難工事でもありました。

戦後日本の建設産業を支えてきたのは加辺さんのように必死に働いてきた無名の建設労働者です。北海道新幹線に乗るときは思い出します。



昭和40年代の愛車いすゞ「TY51」

## 高速・空港・原子力・・・ 日本の高度成長とともに

「札幌オリピックの前昭和40年代前半、北海道が開発ラッシュで札幌自動車道とか道内の大きな現場を転々とした。ところがある現場で社長が夜逃げして二千万円引つかかった。あのときが一番大変だった。いまだに観光でも北海道は行きたくない」。

「45年位前に栃木に来了。成田空港建設工事とか東北自動車道とか仕事はいくらでもあった。成田空港は第二次代執行で反対運動が一番さかん頃。出入りするダンプが何台も過激派に燃やされる事件があった。走っているダンプの下に火炎瓶放り込む奴もいてあぶなくて仕事なんかしてられない（笑い）」

「本当はあと二〜三年は仕事をしなかった。家族が反対するんで。いろいろあったけど事故の加害者になったことは一度もなかった。それが一番、組合に入っでお世話になりました。みなさんお元気で」